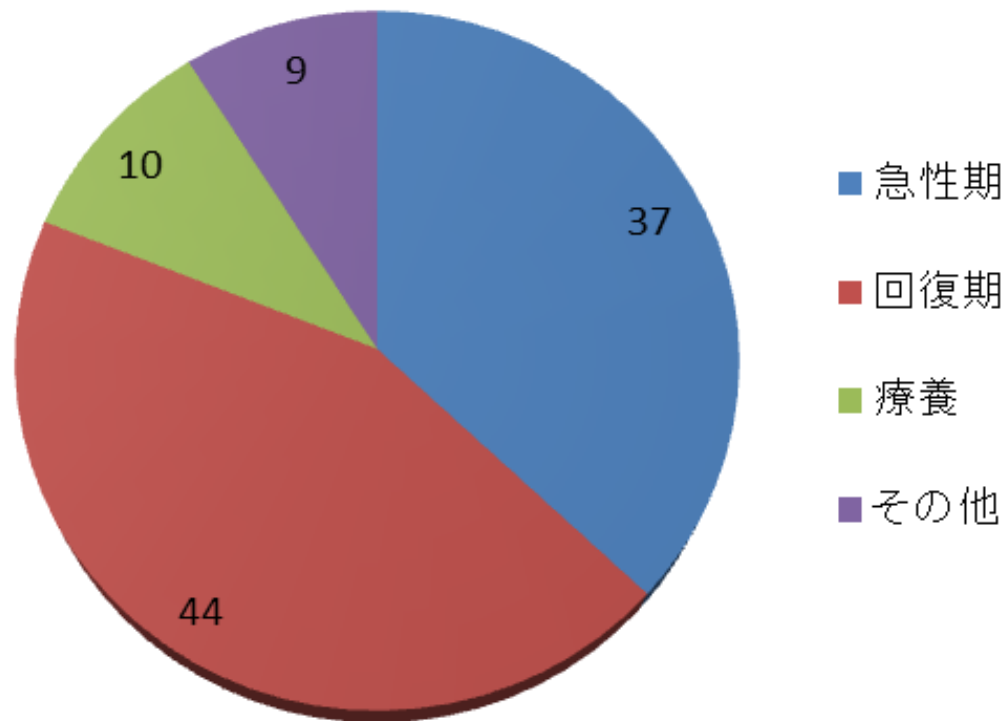


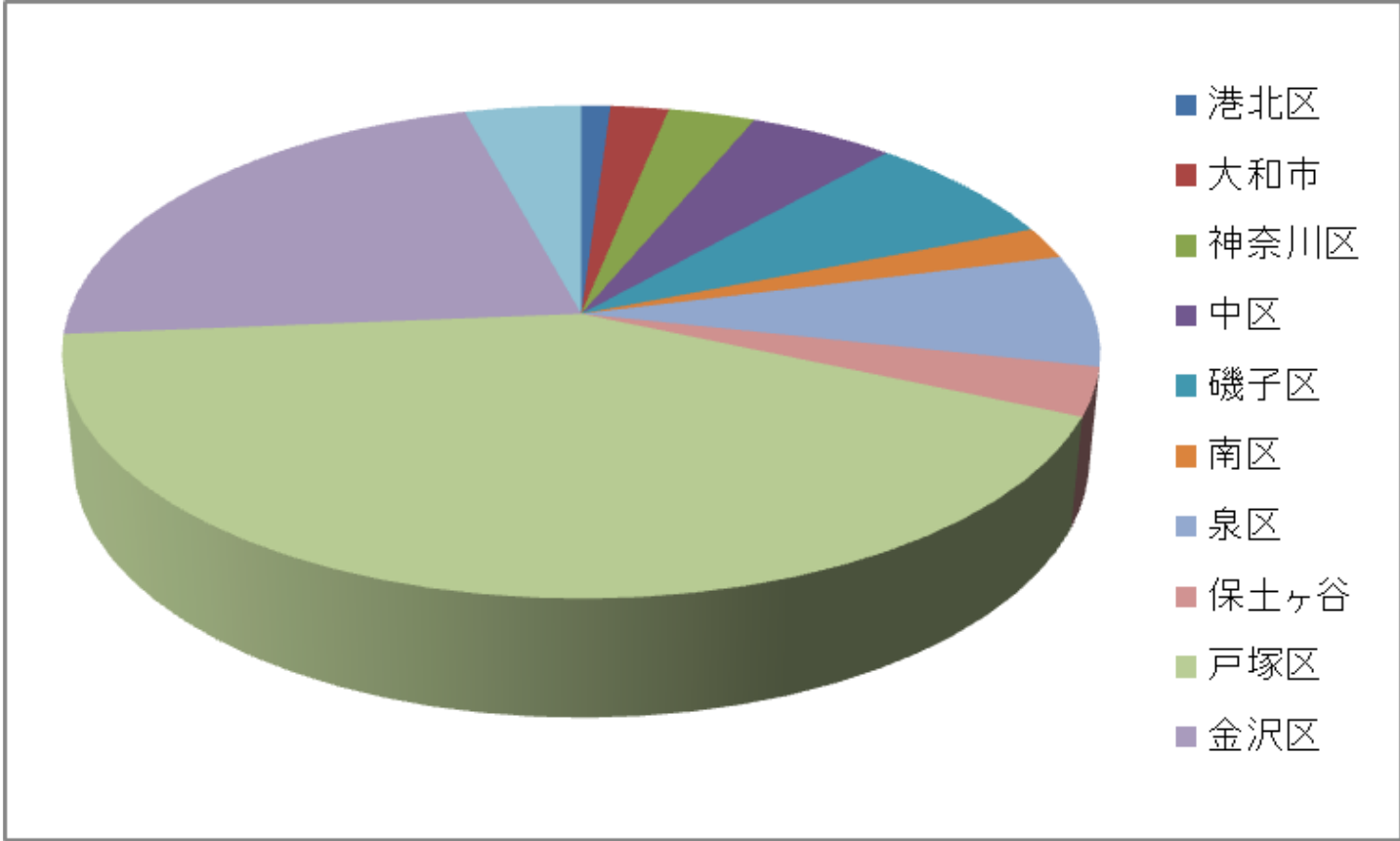
第12回
横浜脳卒中・リハ連携研究会
(Y-CIRCLE)

勤務(担当)病棟



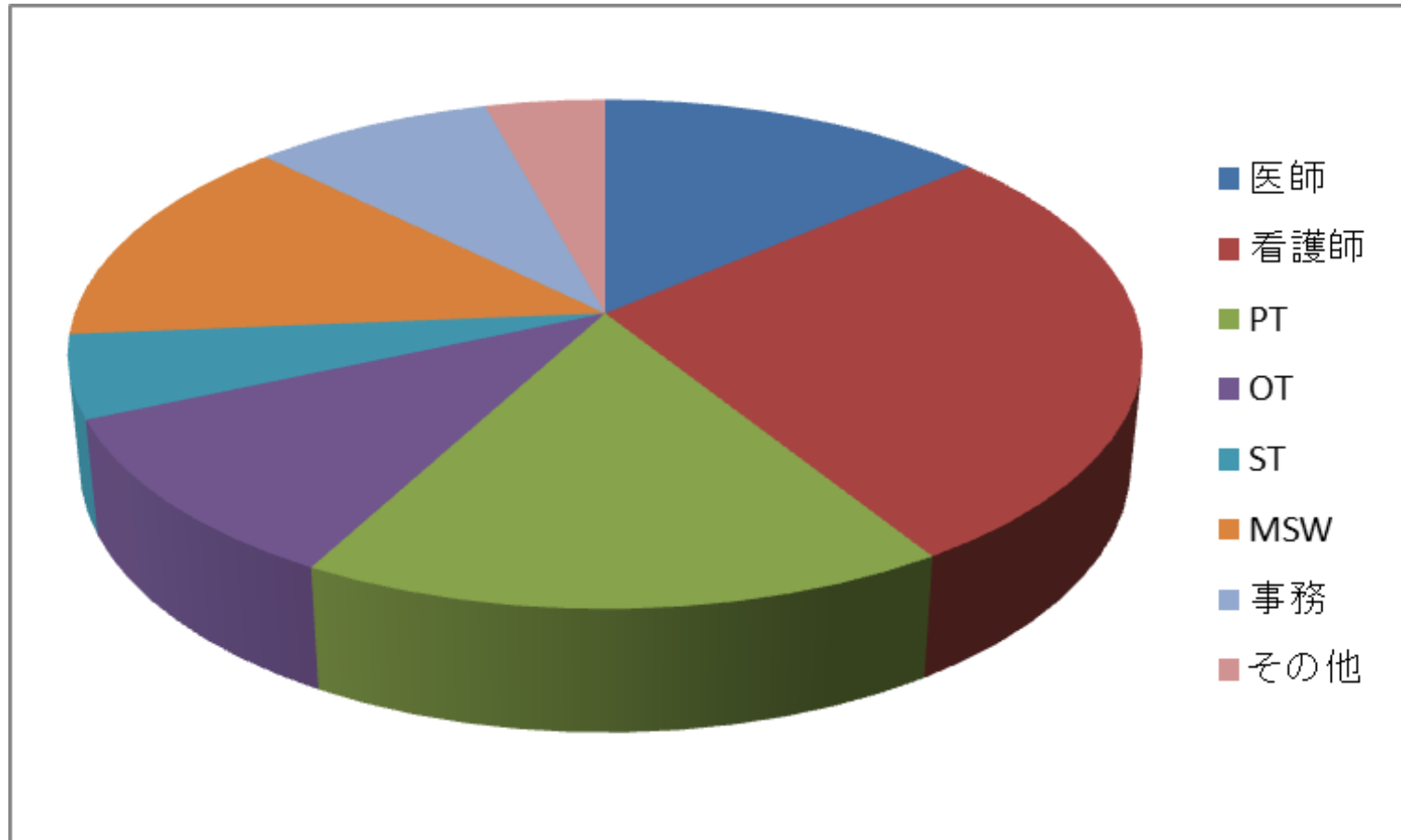
急性期	回復期	療養	その他
37	44	10	9

施設住所



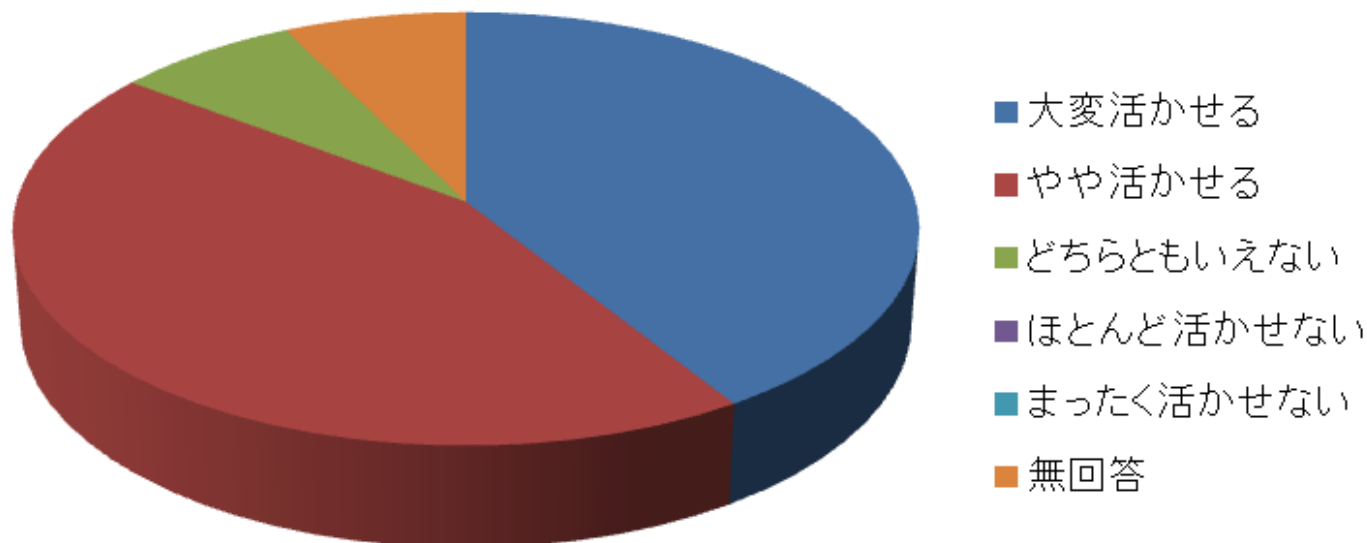
港北区	大和市	神奈川区	中区	磯子区	南区	泉区	保土ヶ谷	戸塚区	金沢区	無回答	計
1	2	3	5	7	2	7	3	40	21	4	95

職業



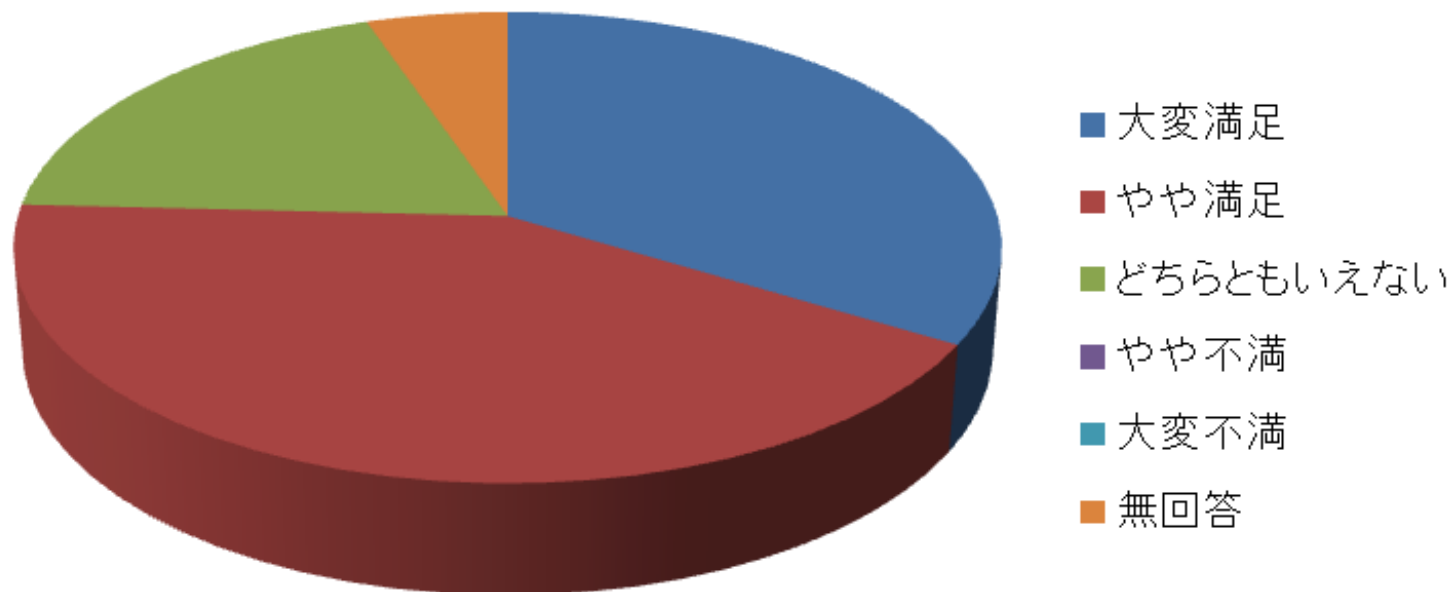
医師	看護師	PT	OT	ST	MSW	事務	その他
13	26	16	10	5	13	8	4

研修内容の業務貢献について



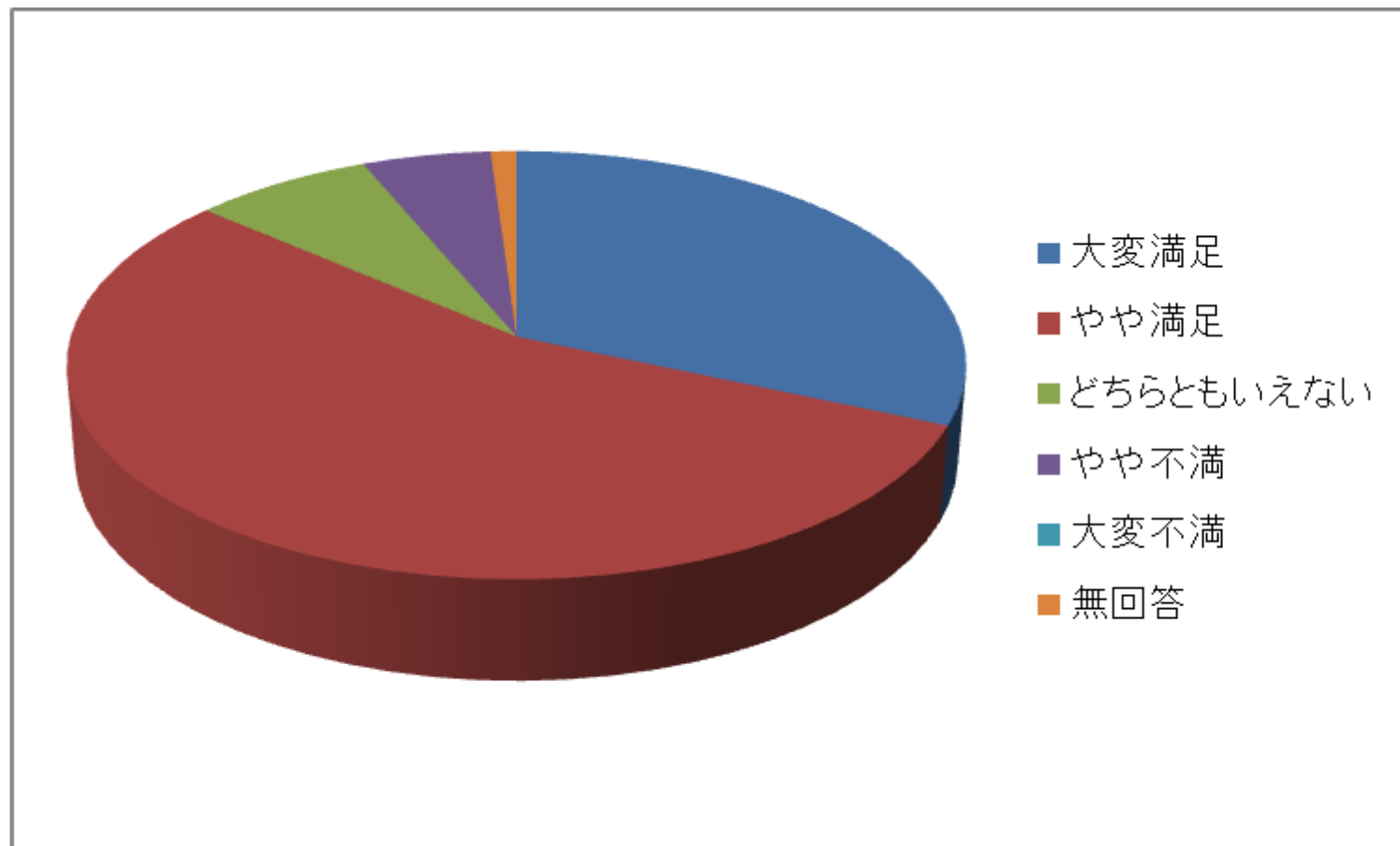
大変活かせる	やや活かせる	どちらともいえない	ほとんど活かさない	まったく活かさない	無回答
39	42	7	0	0	7

施設紹介



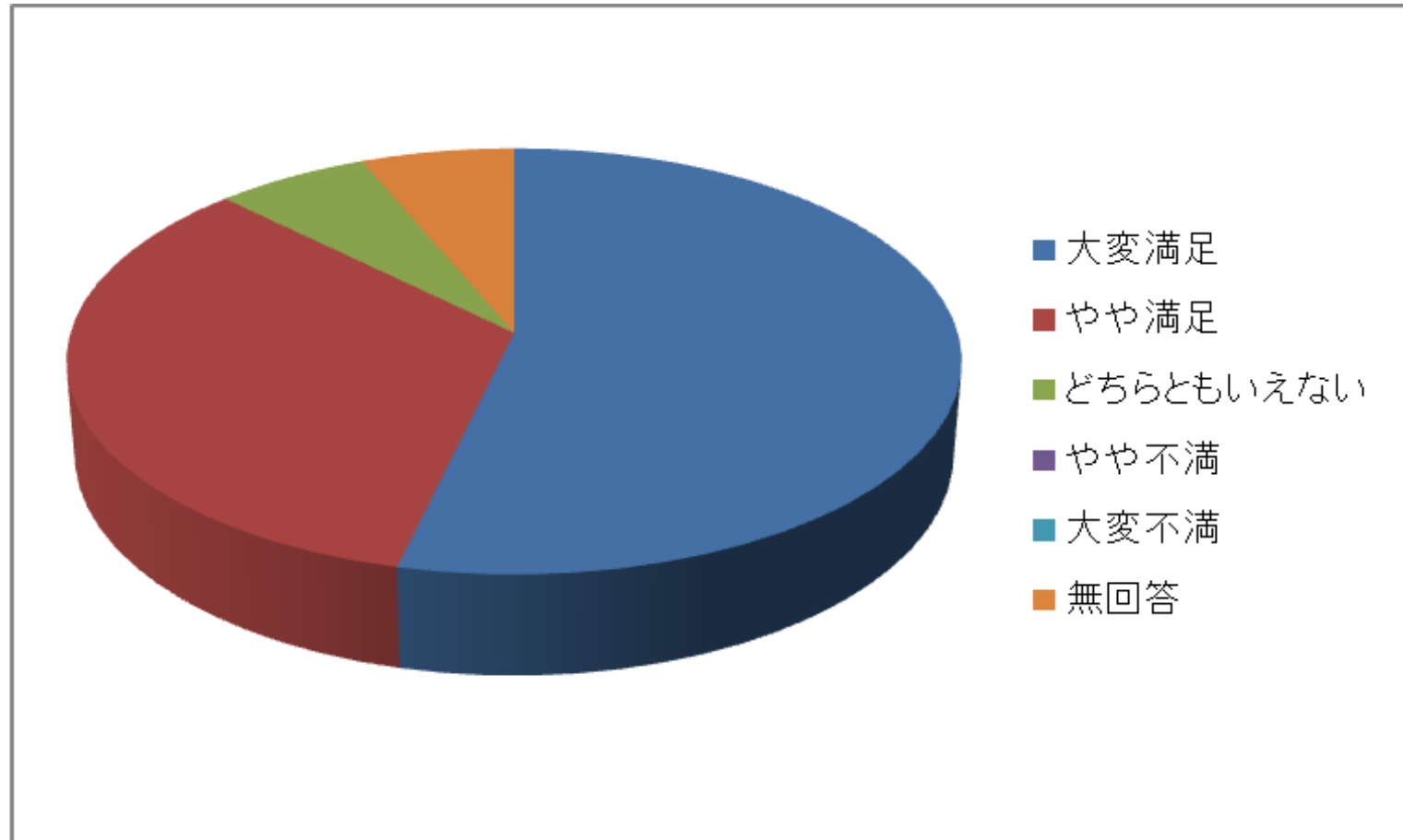
大変満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	大変不満	無回答
32	40	18	0	0	5

症例リレー



大変満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	大変不満	無回答
30	52	7	5	0	1

特別講演



大変満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	大変不満	無回答
51	32	6			6

第12回横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)アンケート結果

(回収枚数 95)

勤務病棟

急性期	回復期	療養	その他
37	44	10	9

複数回答

5

計
100

施設住所

大和市	神奈川区	中区	磯子区	南区	泉区	保土ヶ谷	戸塚区	金沢区	無回答	計
2	3	5	7	2	7	3	40	21	4	95

港北区
1

職業

医師	看護師	PT	OT	ST	MSW	事務	その他
13	26	16	10	5	13	8	4

計
95

研修内容の業務貢献について

大変活かせる	やや活かせる	どちらともいえない	ほとんど活かせない	まったく活かせない	無回答
39	42	7			7

計
95

施設紹介

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答
32	40	18			5

計
95

症例リレー

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答
30	52	7	5		1

計
95

特別講演

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答
51	32	6			6

計
95

●研究会に参加してどのような点が良かったですか

最新の研究で難しい症例のリレーがとても有意義であった

HALについてある程度詳しい現状を知ることが出来た点、ロボットの活用、HALについての新しい知見

HALの実際の動きを見ることが出来た

HALの訓練事例

他施設の関心の高さがわかりました

他院でのリハビリの関わり方が見え参考になった

症例リレーの発表

急性期、回復期、連携HPでの回復状態を知ることができた

同様の症例について考えることができた 患者さんの経過が良くわかってよかった

一人の患者が退院後どのような経過をたどったのかを知れて良かったです

急性期から在宅までの流れがわかった。

交通アクセスが便利と言い難い、自施設の勤務配慮があれば是非

症例発表が良かった、スタッフの思いや悩みが理解できた

参加施設がわかった

一つの症例を長く追う中で各時点での反省や達成感を聞いたこと

事例中心のため様々な視点で興味深い

症例リレーにおいて他病院との関わりが参考になった

普段、自分たちが聞いているような症例リレーのような点と、これから先の可能性であるHALの説明等、まったく違う内容が良か

高橋先生がアツイところ

症例リレーのとても難しい患者に対してどう取り組んだかが参考になってよかった。

出席者の熱意に触れてよかった

どの病院でどんなことをやっているか知れて良かった。

自施設のみならず他の施設や多職種の方の具体的ななかかわりを知るよい機会となりました

MSWの家族への働きかけについて学ぶことができました

同じ課題に対しての各病院のアプローチの違いを学べた

顔が見える

他職種との顔が見える関係ができた

症例リレーがうまくいかなかった場合もあると知ることが出来ました

施設紹介

立たせる必要はないかと思います

各施設の紹介があることにより顔の見える関係ができると感じました。

時間内は制限があるため仕方ないが時間があれば各HPのアピールetcがあると良い

近隣の病院のことを知ることができた

症例リレー

当院での患者様、ご家族との関わり、在宅復帰に向けて考え直す機会ができた

施設間での患者様とのとらえ方の違いが面白くもあり疑問もありました。

Faへのアプローチの詳細、最後の結末をもう少し知りたかったです

もっと準備が必要だと思います

各施設間で事前に情報交換があってもよいのでは、ストーリーがつながり、わかりやすいのでは

1病院完結ではなく、地域で在宅連帯を支えているイメージがした

思い切った症例発表だったと思います。

今後も困難事例の取り組みなどお話を聞かせてほしい

結局何を伝えたかったのか、リハビリ以外の看護のかかわりはどうだったのか、知りたかった

難しい症例について、どのようなアプローチが良いのか迷うことがあるがどうすればいいのか、基本となる考え方がわかった
あまりうまくいかなかった

回復期、リハビリ期へと移行していく患者さんの変化を知ることができた

急性期での看護の役割を再認識することができました

成功事例ではなかった

特別講演

HALは知っていたが説明を受けたことはなかった、わかりやすかった

理念と実践が素晴らしいと思います

HALの本来の目的が理解できた

今後HALが臨床でより活用できることを期待したいです

症例があり、イメージしやすかった

どのような点が改善されれば次回も参加したいですか

会場へのアクセス or 院内の交通支援

顔なんて見えません。もっとディスカッションできる場が欲しい

開催日を早めに教えてほしい

時間を1時間～1.5時間にしてほしい

ディスカッションの内容

医師がもっと参加できるようにするべき、クリニックなど

段取りが悪い、スライドの操作練習をするべき

回復期以降の治療を勉強できる

時間が少し長いです

症例リレーの円滑性の向上

症例リレーでの検討課題の明確化

モニターの位置が低く見づらかった

リハーサルをしておくといい

空調

パワーポイントの調整

流れをスムーズにすればもっと良かった

症例リレーをもう一例程追加しても良いのでは

今後この会で扱って欲しいテーマがあれば教えてください

多施設参加なのでリハビリ、MSW、WSなどの分野を振り分けるのも良いのでは
一方的な話で顔の見える連携は生まれない

早期リハビリ

回復期リハビリHP例でPTにもっと急性期の段階でここまでリハビリを進めてほしかったといった内容

最先端の医療（再生医療等）

医師をはじめとした他職種が求めるリハビリテーション

困難事例への対応

高次機能障害のリハビリテーション

回復期後どのような支援を組み立てて退院したか退院時の介護保険サービス内容も含めて報告してほしい

ボトックス診療の実態、現場について

今回のように困難事例をどうのりきったかという症例を聞きたい（乗り切れない症例の含め聞きたい）

VFの検査法と読影法

診療報酬をうまく使いこなすために

在宅復帰するまでとその後

その他・要望等

ディスカッションできる場にして頂きたいです。

入口にも案内が必要だ

運営の方々もとても親切で大変学びがある研究会でした

開始時間が早すぎます、せめて7時からにしてほしい